

全国農業



2023年(令和5年)

7月7日 金曜日
月4回金曜日発行

関東

ブランド力向上へ
ハンバーグに加工
大月市産タマネギ

【山梨】大月市は中山間の小規模農地が多いため、自家消費型の農業がほとんど。そこで、市で

は自家用に栽培されてきたタマネギに着目し、安定的に出荷できる仕組みを作ろうと2016年、千葉県に本社を置く石井食品㈱と連携した取り組みを始めた。

市内で生産されたタマ



タマネギを収穫する米山会長

ネギをまとめて出荷し、それを使ったハンバーグを製造・販売するというもの。22年には農家19人で大月市玉ねぎ研究会が発足し、県農務事務所の指導を受け、病気対策や品質・量の向上を図った。結果、昨年7トだった出荷量は、今年は12トに伸びている。

研究会に参画している同市農業委員会の米山義一会長は「大月市産のタマネギのブランド力をアップさせ、タマネギで耕作放棄地を減らしていきたい」と意気込みを語っている。